



シャーシの取り付け

- シャーシのラックマウント (1 ページ)
- ケーブル管理ブラケットの取り付け (16 ページ)
- エアーフィルタの取り付け (17 ページ)
- シャーシの接地 (21 ページ)
- 電源装置の入出力範囲 (24 ページ)
- シャーシへの AC 電源の接続 (27 ページ)
- シャーシへの DC 電源の接続 (30 ページ)

シャーシのラックマウント

シャーシは4支柱ラックに取り付けることができます。



警告 ステートメント 1032 - シャーシの持ち上げ

怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、カードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルには、ユニットの重量を支える強度はありません。



警告 ステートメント 1006 - ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。
 - ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
 - ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。
-

4 支柱ラックへのシャーシのラックマウント

この項では、4 支柱ラックにルータを設置する方法について説明します。



注意 ラックにキャスタが付いている場合、ブレーキがかかっているか、または別の方法でラックが固定されていることを確認してください。

次の表に、ラックマウントキットに含まれる品目を示します。

表 1: ラックマウントキット

数量	部品
2	ラックマウントブラケット
18	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
2	M4 X 6 mm なべネジ
2	ラックマウントガイド
2	ラックマウントガイドレール (4 本の深さの異なる支柱に 2 種類の長さ)
1	接地プレート (Cisco 8201、Cisco 8201-32FH、および Cisco 8201-24H8FH ルータに適用)
1	アースラグおよびネジ

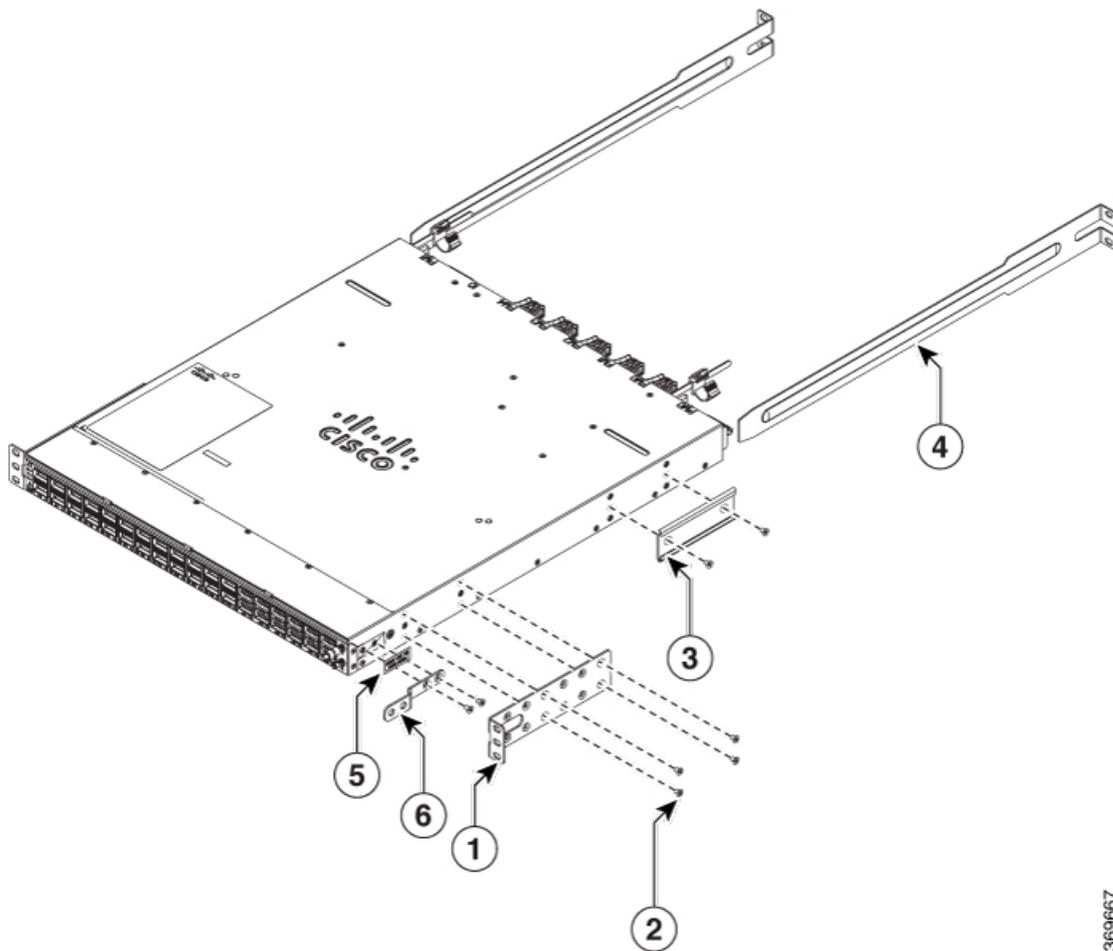
ステップ 1 次の手順で、ラックマウントブラケットをルータに取り付けます。

- a) 次のように、シャーシのどちらの端をコールドアイルに配置するかを決めます。
 - ルータにポート側吸気モジュール (赤紫色のカラーリングのファンモジュールと電源モジュール) がある場合は、ポートがコールドアイル側になるようにルータを配置します。
 - ルータにポート側排気モジュール (青色のカラーリングのファンモジュールと電源モジュール) がある場合は、ファンと電源モジュールがコールドアイル側になるようにルータを配置します。
- b) (Cisco 8201、Cisco 8201-32FH、および Cisco 8201-24H8FH のみ) シャーシに接地プレートを取り付けます。2 本の M4 フラットヘッドネジを 13.25 インチポンド (1.5 N-m) のトルク値で使用して、接地プレートをシャーシに取り付けます。

(注) Cisco 8201 シャーシには、接地プレートをシャーシに取り付ける前に取り外す必要がある、接地カバーラベルがあります。
- c) シャーシの側面にラックマウントブラケットを当て、4 個のネジ穴をシャーシ側面の 4 個のネジ穴に合わせてから、4 本の M4 プラス皿ネジを使用して 13.25 インチポンド (1.5 N-m) のトルク値でブラケットをシャーシに取り付けます。

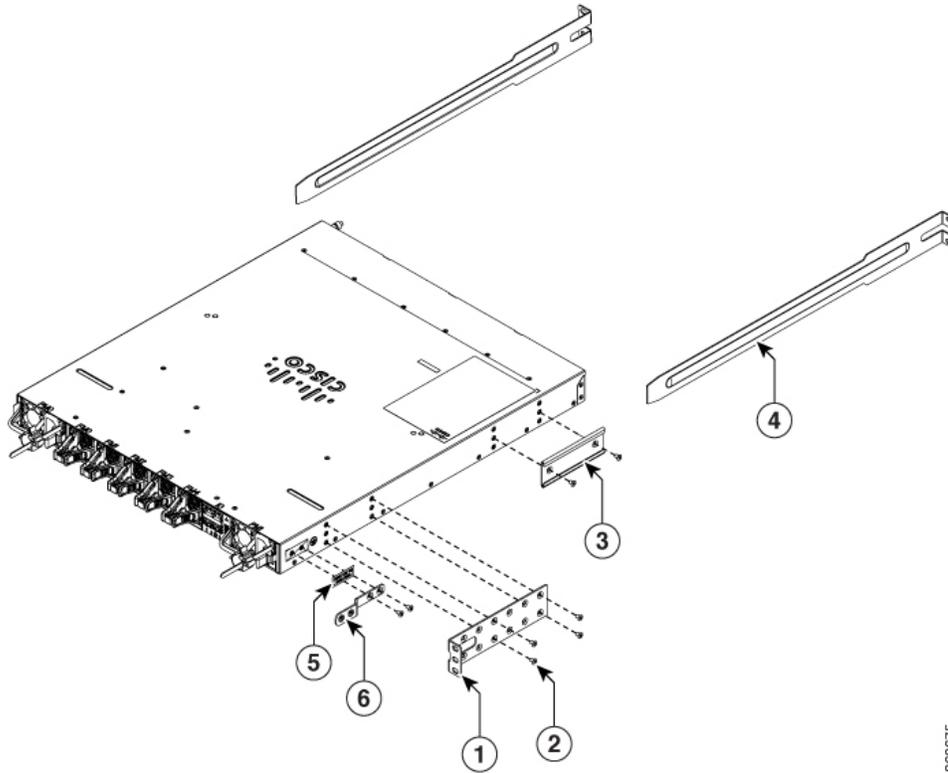
(注) ラックマウントブラケットのネジ穴4個は、シャーシ前面のネジ穴4個に揃えることも、シャーシ背面のネジ穴4個に揃えることもできます。使用する穴は、コールドアイルに配置するシャーシ端によって異なります。

図 1: Cisco 8201 のラックマウントブラケット：ポート側吸気



369667

図 2: Cisco 8201 のラックマウントブラケット : ポート側排気



369675

1	ラックマウント ブラケット	4	ラックマウントガイドレール
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ	5	接地カバーラベルの取り外し
3	ラックマウント ガイド	6	接地プレート

図 3 : Cisco 8202-32FH-M ルータのラックマウントブラケット (8K-2RU-KIT-S) : ポート側吸気

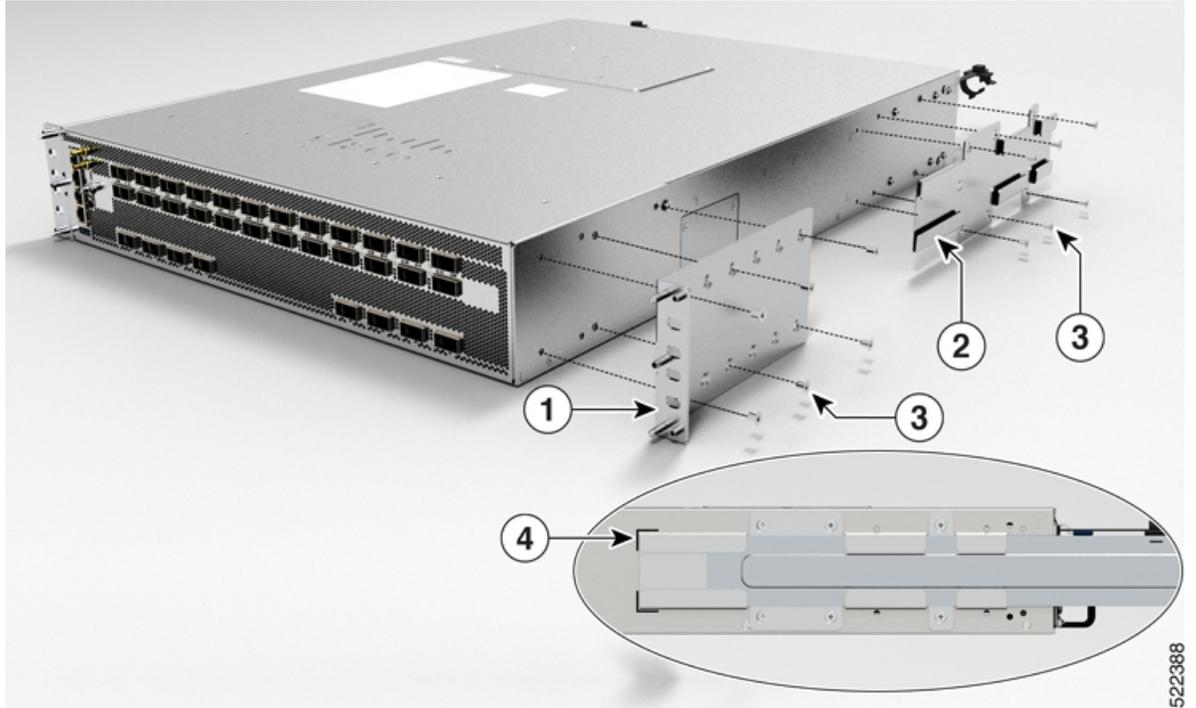
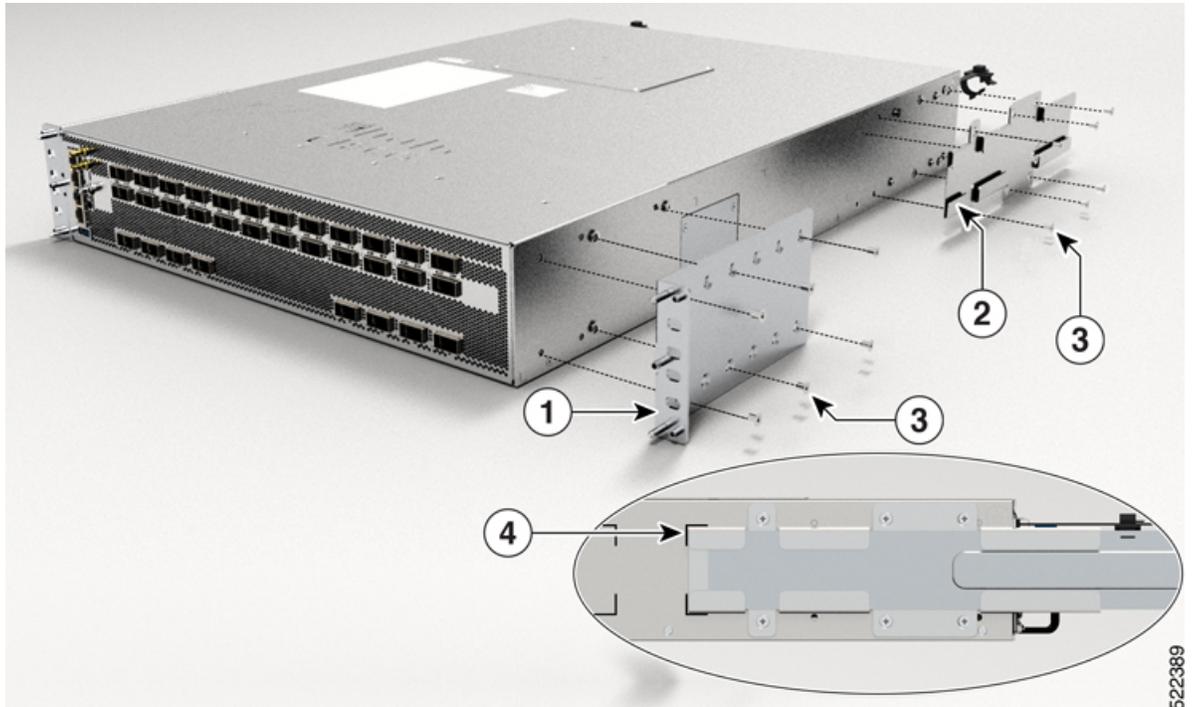


図 4 : Cisco 8202-32FH-M ルータのラックマウントブラケット (8K-2RU-KIT-L) : ポート側吸気



1	ラックマウントブラケット	3	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
---	--------------	---	------------------

2	ラックマウントガイド	4	<p>ラックマウントガイドレール。レールの方向したレールに応じて変わります。Cisco 8202-3 ルータでは、次のレールタイプを使用できます</p> <ul style="list-style-type: none"> • 8K-2RU-KIT-S : ラックの奥行きが 23 ~ の場合に使用 • 8K-2RU-KIT-L : ラックの奥行きが 30 ~ の場合に使用
---	------------	---	---

図 5: Cisco 8202 のラックマウントブラケット : ポート側吸気

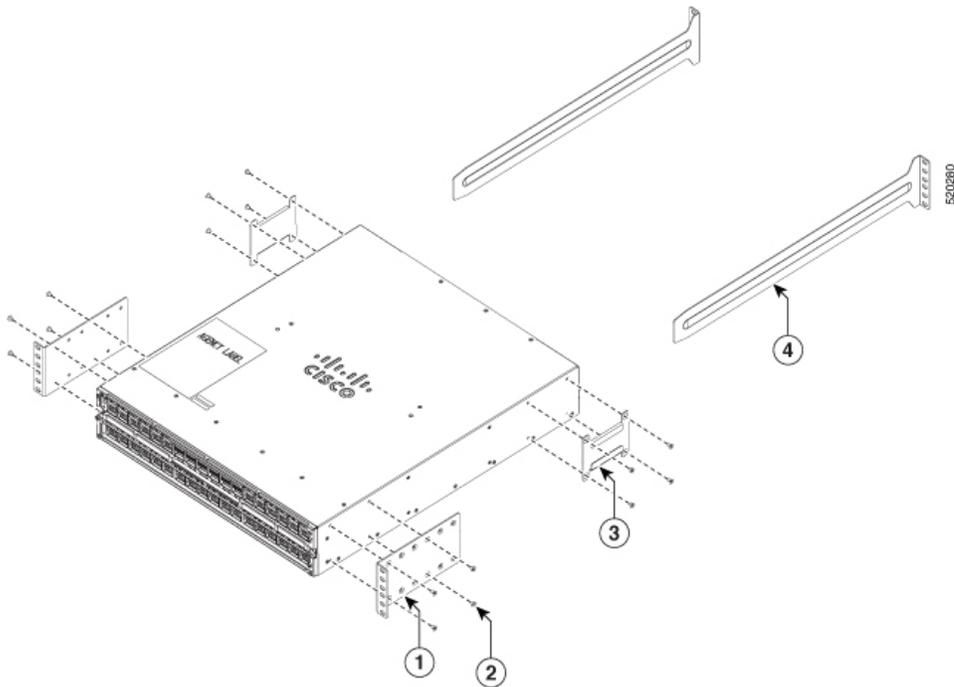
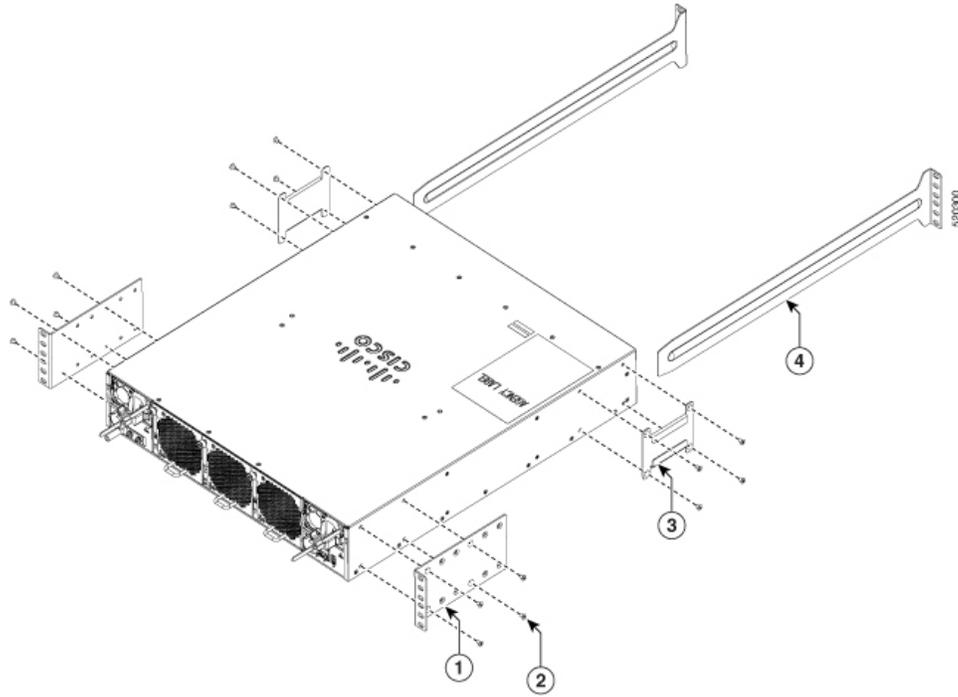


図 6: Cisco 8202 のラックマウントブラケット : ポート側排気



1	ラックマウントブラケット	3	ラックマウントガイド
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ	4	ラックマウントガイドレール

図 7: Cisco 8201-32FH または Cisco 8201-24H8FH ルータのラックマウントブラケット : ポート側吸気

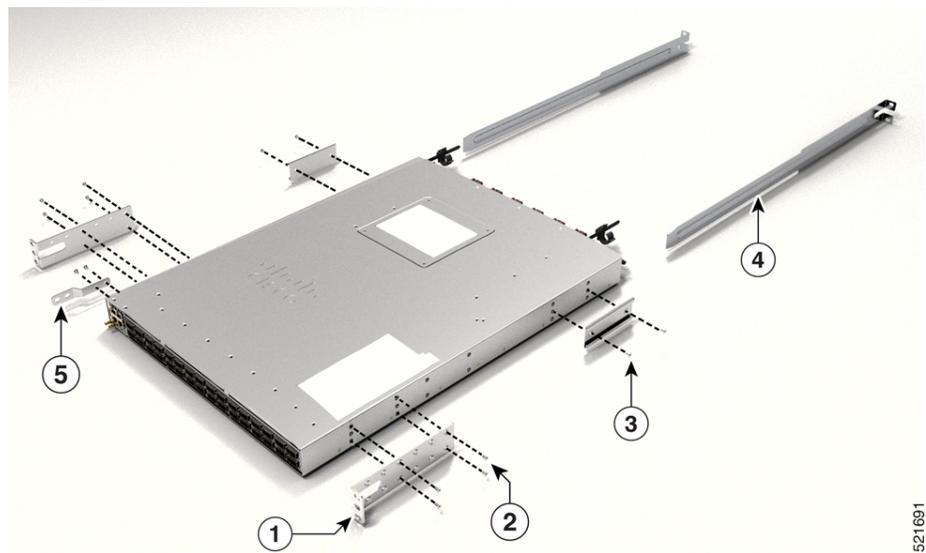
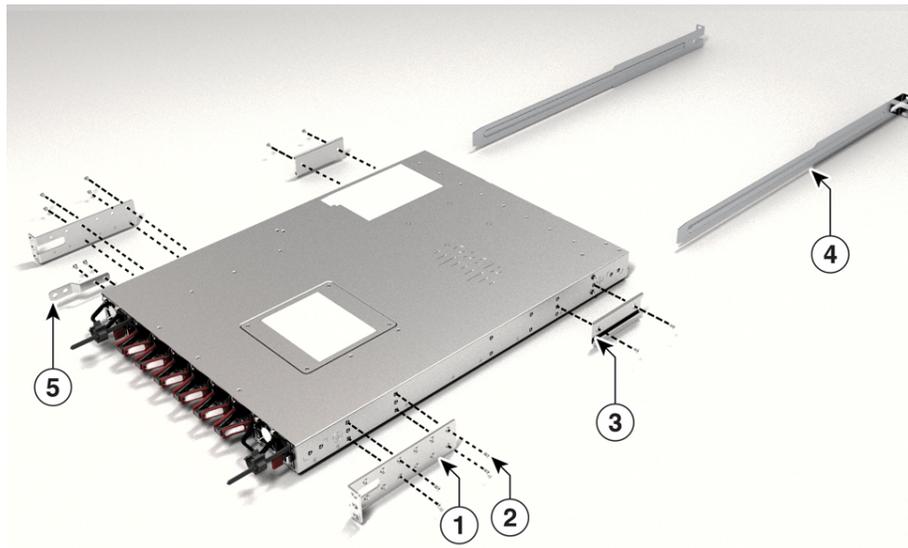


図 8: Cisco 8201-32FH または Cisco 8201-24H8FH ルータのラックマウントブラケット：ポート側排気



1	ラックマウント ブラケット	4	ラックマウントガイドレール
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ	5	接地プレート
3	ラックマウント ガイド		

d) ステップ 1b を繰り返して、ルータの反対側にももう一方のラックマウントブラケットを取り付けます。

ステップ 2 シャーシに 2 つのラックマウントガイドを取り付けます。

- シャーシの側面にラックマウントガイドを当て、2 個のネジ穴をシャーシ側面の 2 個の穴に合わせてから、2 本の M4 フラットヘッドネジを使用してガイドをシャーシに取り付けます。13.25 インチポンド (1.5 N-m) のトルクでネジを締めます。
- 同様に、ルータの反対側にもラックマウントガイドを取り付けます。

ステップ 3 ガイドレールをラックに取り付けます。

- ガイドレールをラック後方の目的のレベルに合わせ、ラックのねじ山タイプに応じて、4 本の 12-24 ネジまたは 4 本の 10-32 ネジを使用して、ラックにレールを取り付けます。

(注) 角穴のラックの場合は、12-24 または 10-32 ネジを使用する前に、ガイドレールの各取り付け穴の後ろに 12-24 または 10-32 ケージナットを配置する必要がある場合があります。

- 同様に、ラックの反対側にもガイドレールを取り付けます。
- メジャーおよび水準器を使用して、レールが同じ高さで水平になっているか確認します。

ステップ 4 ルータをラックに差し込んで取り付けます。

- 両手でルータを持ち、ラック前面の支柱の間に後ろ向きでルータを入れます。
- ラックに取り付けたガイドレールにルータの両側の 2 つのラックマウントガイドを合わせます。ラックマウントガイドをガイドレールに滑り込ませ、ルータをラックの奥までゆっくりスライドさせます。

- (注) ルータをスムーズにスライドできないときは、ラックマウントガイドとガイドレールの位置を合わせ直します。
- c) シャーシを水平に保持し、2本のネジ（ラックのタイプに応じて12-24または10-32）を各ラックマウントブラケットの穴に差し込み、ラック取り付けレールのケージナットまたはネジ穴にネジを通します。
- d) 10-32ネジは20インチポンド（2.26 N·m）で締め、12-24ネジは30インチポンド（3.39 N·m）で締めます。

2支柱ラックへのシャーシのラックマウント

ここでは、Cisco 8201、Cisco 8202、Cisco 8201-32FH、Cisco 8202-32FH-M、またはCisco 8201-24H8FHルータをキャビネットまたは2支柱ラックに設置する方法について説明します。



注意 ラックにキャスタが付いている場合、ブレーキがかかっているか、または別の方法でラックが固定されていることを確認してください。

次の表に、ルータに付属のラックマウントキットの内容を記載します。

表 2: ラックマウントキット

数量	部品
2	ラックマウントブラケット
8	M4 X 0.7 X 6 mm フラットヘッドネジ

ステップ 1 2つのラックマウントブラケットをルータに取り付けます。

- a) シャーシのどちらの端をコールドアイルに配置するかを決めます。
- ルータにポート側吸気モジュール（赤紫色のカラーリングのファンモジュールと電源モジュール）がある場合は、光ポートがコールドアイル側、ファンモジュールと電源モジュールがホットアイル側になるようにルータを配置します。
 - ルータにポート側排気モジュール（青色のカラーリングのファンモジュールと電源モジュール）がある場合は、ファンと電源モジュールがコールドアイル側、光ポートがホットアイル側になるようにルータを配置します。
- b) （Cisco 8201、Cisco 8201-32FH、およびCisco 8201-24H8FHのみ）シャーシに接地プレートを取り付けます。2本のM4フラットヘッドネジを13.25インチポンド（1.5 N·m）のトルク値で使用して、接地プレートをシャーシに取り付けます。

(注) Cisco 8201 シャーシには、接地プレートをシャーシに取り付ける前に取り外す必要がある、接地カバーラベルがあります。

- c) ブラケットの耳をシャーシの中央に向けた状態で、4個のネジ穴がシャーシ側面の4個のネジ穴に揃うように、シャーシの側面に前面ラックマウントブラケットを当てます。
- d) 4本の M4 フラットヘッドネジを 13.25 インチポンド (1.5 N-m) のトルク値で使用して、ブラケットをシャーシに取り付けます。

図 9: Cisco 8201 のラックマウントブラケット : ポート側吸気

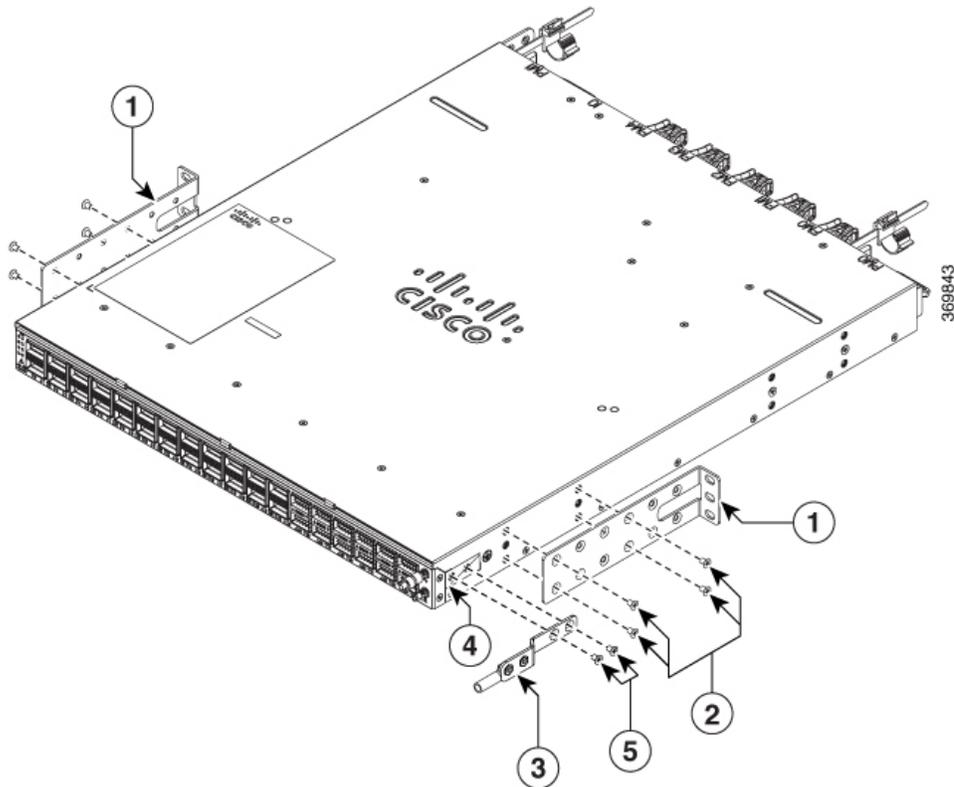
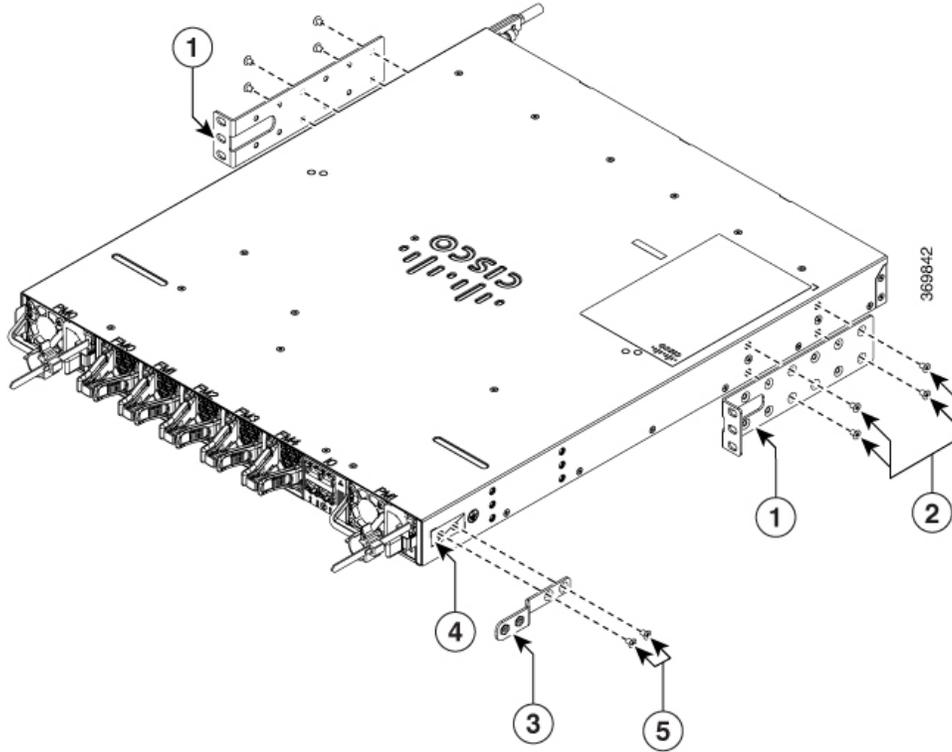


図 10: 図 6 : Cisco 8201 ルータのラックマウントブラケット : ポート側排気



1	ラックマウントブラケット	4	アースプレートの取り付け位置
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ	5	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
3	接地プレート		

図 11: Cisco 8202 のラックマウントブラケット : ポート側吸気

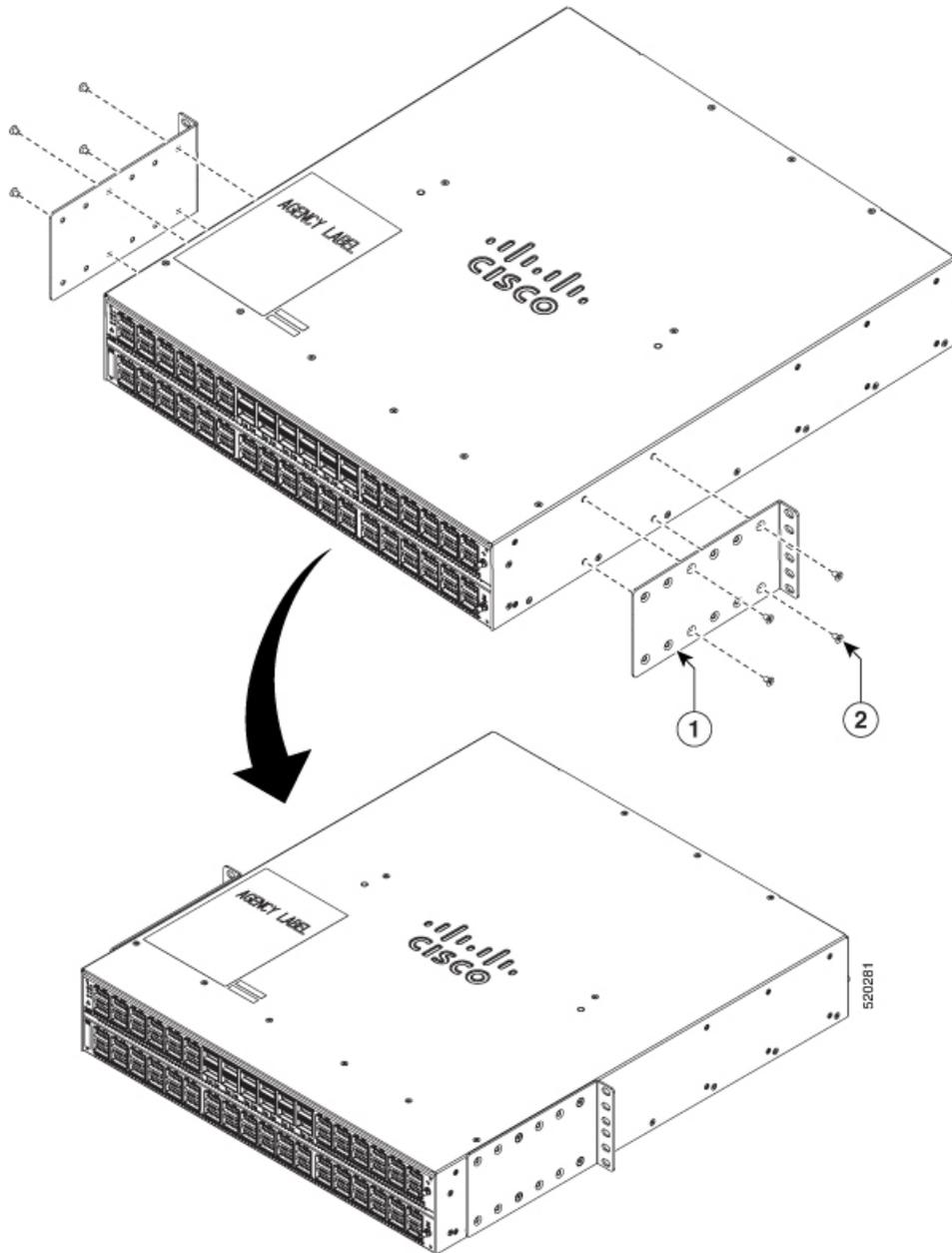
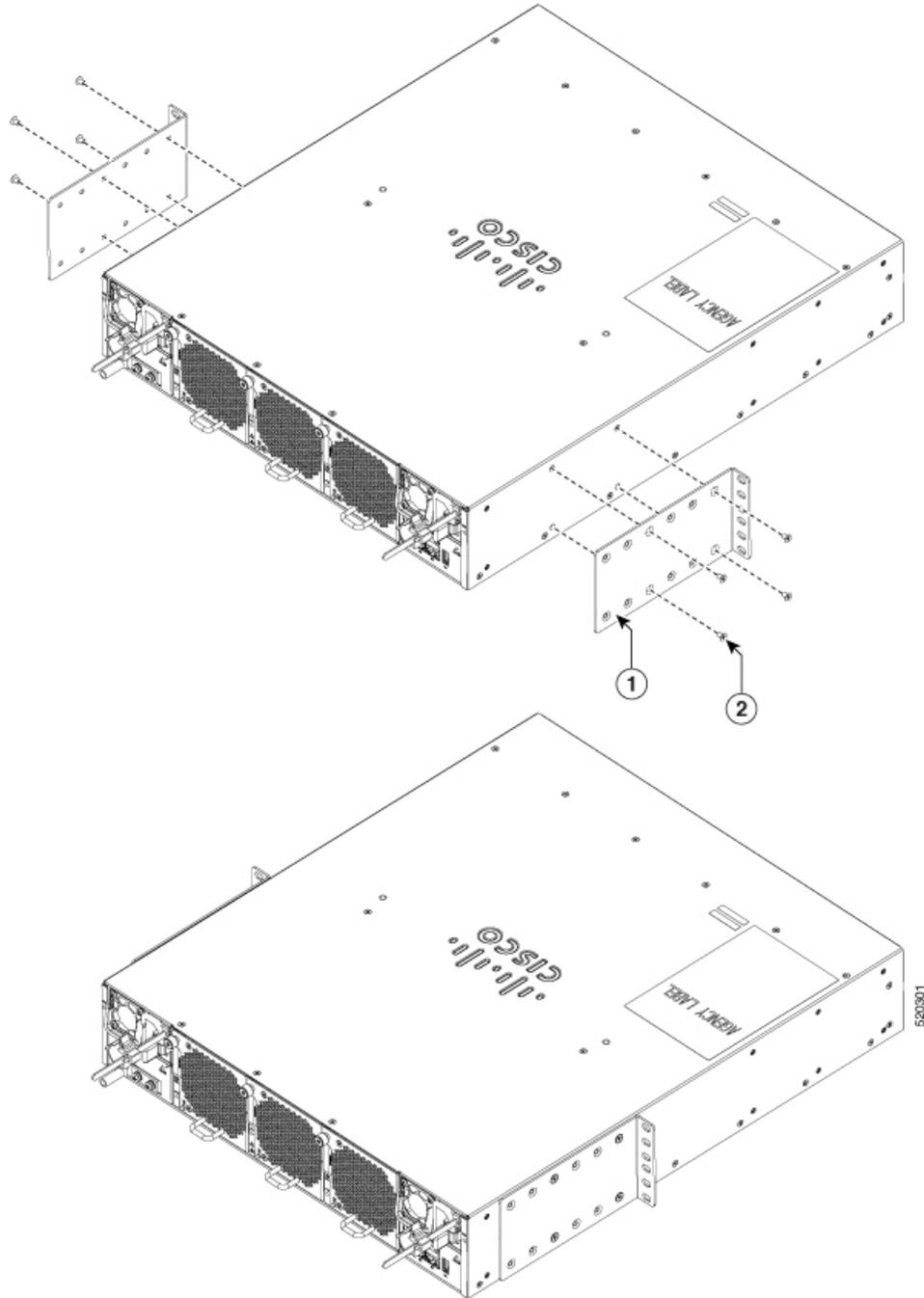


図 12: Cisco 8202 のラックマウントブラケット : ポート側排気



1	ラックマウントブラケット	2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
---	--------------	---	------------------

2支柱ラックへのシャーシのラックマウント

図 13: Cisco 8201-32FH または Cisco 8201-24H8FH ルータのラックマウントブラケット：ポート側吸気

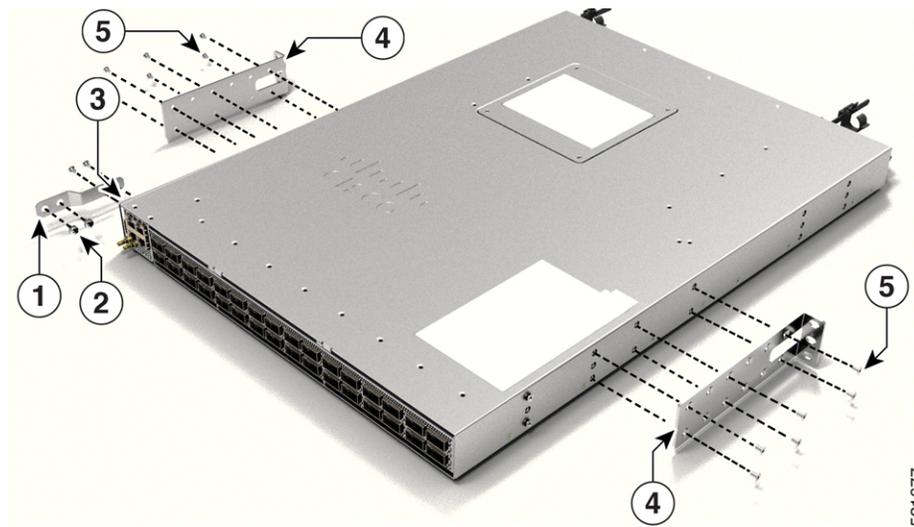
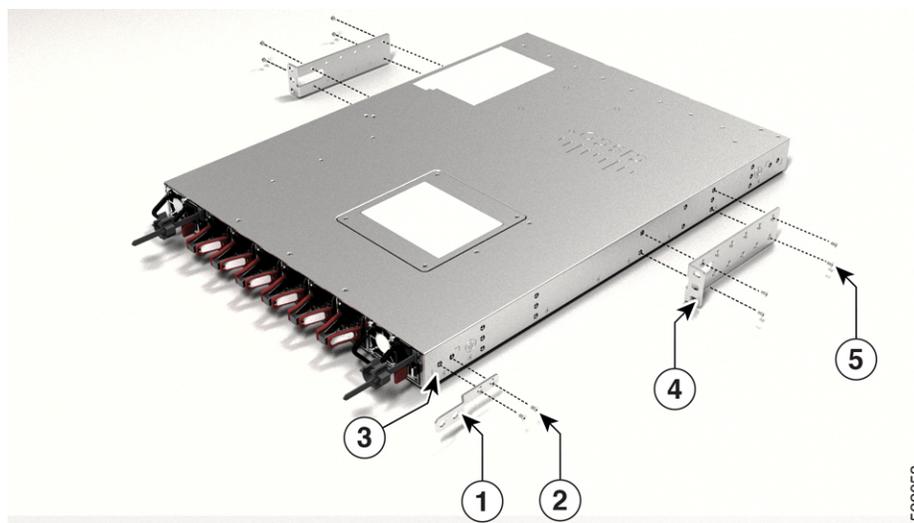
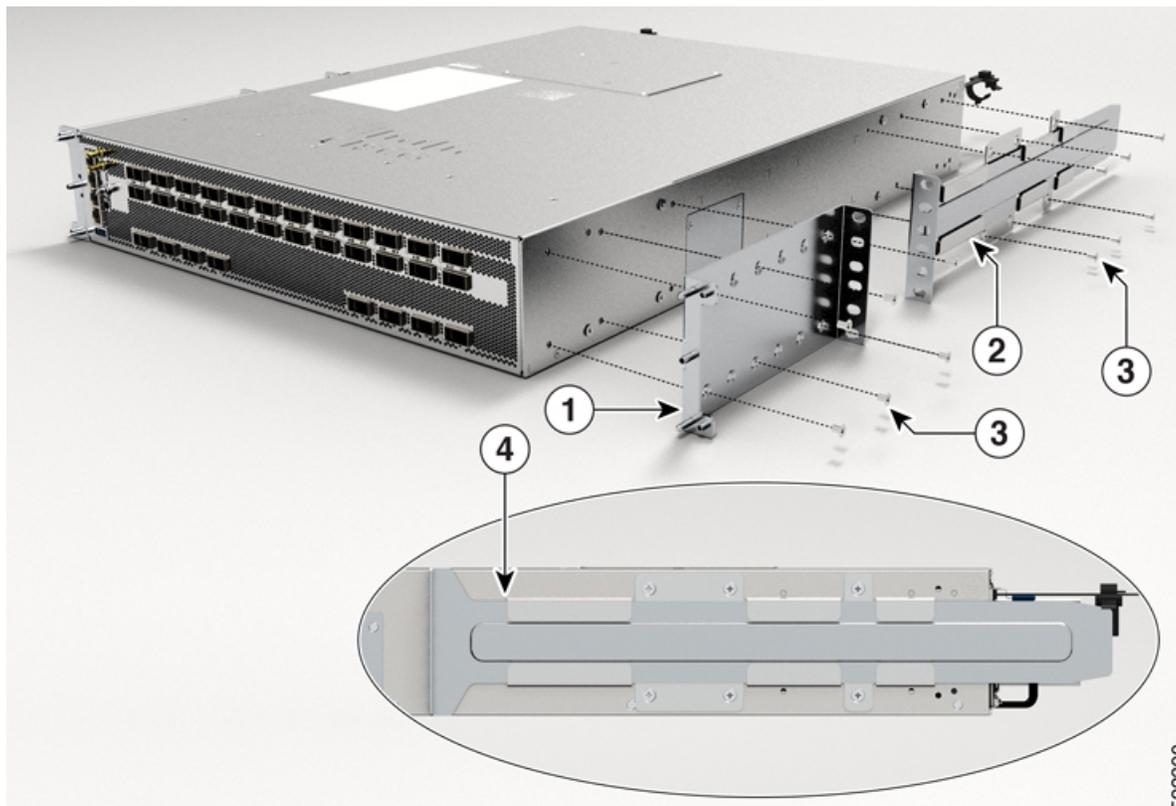


図 14: Cisco 8201-32FH または Cisco 8201-24H8FH ルータのラックマウントブラケット：ポート側排気



1	接地プレート	2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
3	アースプレートの取り付け位置	4	ラックマウントブラケット
5	M4 X 6 mm プラス皿ネジ		

図 15: Cisco 8202-32FH-M ルータのラックマウントブラケット：ポート側吸気



1	ラックマウントブラケット	3	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
2	ラックマウントブラケットに固定されたスライダ	4	レールスライダ

- e) ステップ 1b と 1c を繰り返して、ルータの反対側にもう一方のラックマウント ブラケットを取り付けます。

ステップ 2 2支柱ラックにルータを取り付けます。

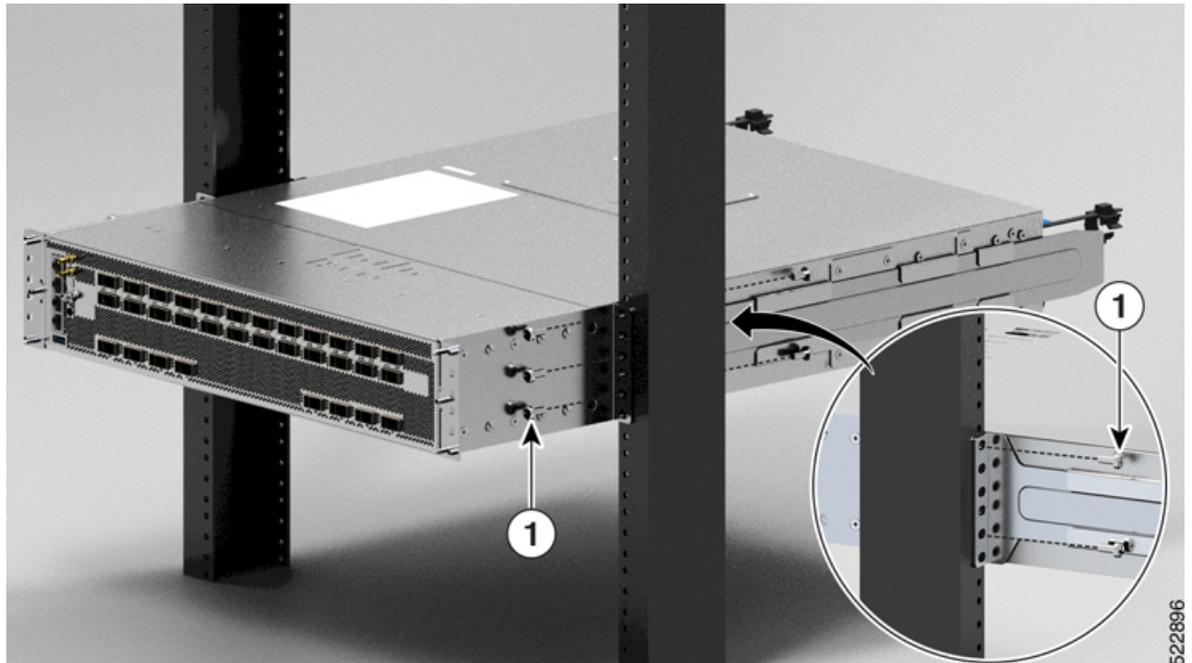
- a) 他の人員の手を借りて、ルータを 2 本のラック支柱の間に持ち上げます。
- b) ラックマウントブラケットが 2 本のラック支柱に接触するまで、ルータを移動します。
- c) 1 人がシャーシを水平に持っている間、もう 1 人が 2 本のネジ（ラックのタイプに応じて 12-24 または 10-32）を 2 つのラックマウントブラケット（合計 4 本のネジ）に差し込んで、垂直ラックの取り付けレールのケージナットまたはネジ穴にネジを通します。

Cisco 8202-32FH-M シャーシの場合：

1. 1 人がシャーシを水平に持っている間、もう 1 人が 3 本のネジ（ラックのタイプに応じて 12-24 または 10-32）を 2 つの前面ラックマウントブラケット（合計 6 本のネジ）に差し込んで、垂直ラックの取り付けレールのケージナットまたはネジ穴にネジを通します。
2. シャーシの両側に、背面ラックマウントブラケットとレールスライダを取り付けます（「Cisco 8202-32FH-M ルータのラックマウントブラケット：ポート側吸気」の画像で 2 とマークされている）。

ます)。最初にレールを背面ラックマウント側にスライドさせてから、組み立てた状態でシャーシに固定する必要があります。

3. 2本のネジ（ラックのタイプに応じて 12-24 または 10-32）を垂直ラックの取り付けレールのケーシングまたはネジ穴を通して、それぞれ2つの背面ラックマウントブラケット（合計4本のネジ）に差し込みます。



1	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
---	------------------

- d) 10-32 ネジは 20 インチポンド (2.26 N·m) で締め、12-24 ネジは 30 インチポンド (3.39 N·m) で締めます。

ケーブル管理ブラケットの取り付け

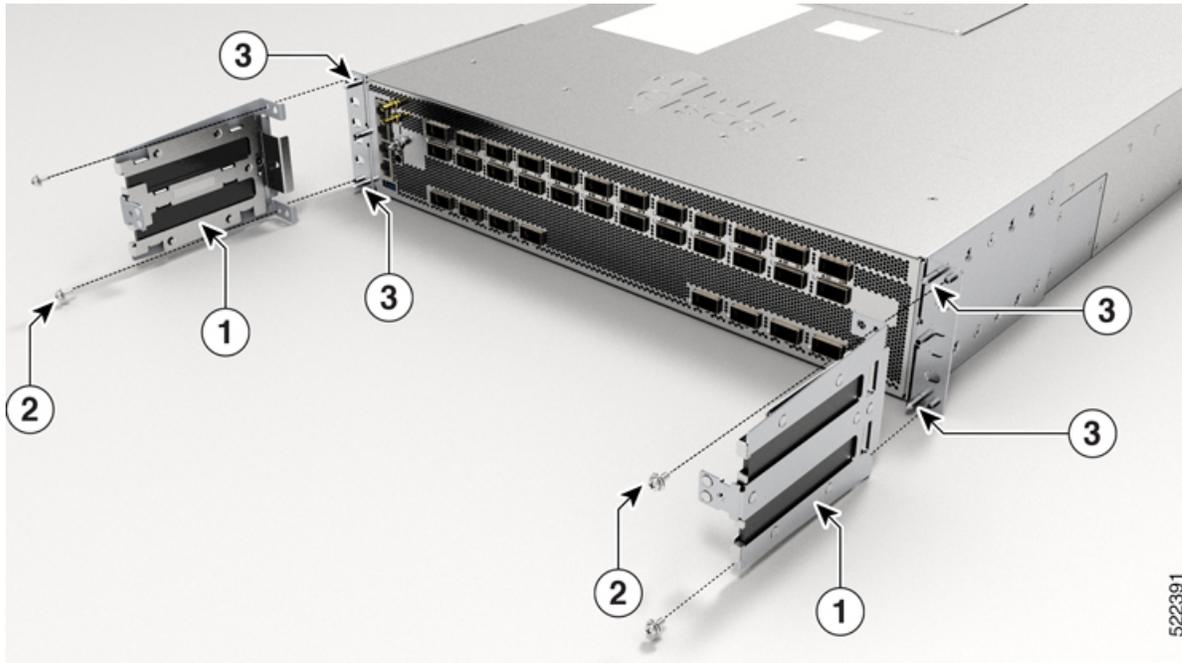
ケーブル管理ブラケットを取り付けるには、次の手順を実行します。



- (注)
- この手順は、Cisco 8202-32FH-M シャーシに適用されます。
 - Cisco 8202-32FH-M シャーシのケーブル管理ブラケットは、光ケーブルのみをサポートしています。

- ステップ1** 静電気防止用リストまたはアンクルストラップを取り付けて、使用手順に従います。
- ステップ2** ケーブル管理ブラケットを、ラックマウントブラケットの3つのガイドピンに合わせます。

図 16: Cisco 8202-32FH-M ルータでのケーブル管理ブラケットの取り付けおよび取り外し



1	ケーブル管理ブラケット	2	固定ネジ: M3 x 8mm なベネジ
3	ガイドピン		

- ステップ3** ケーブル管理キットに付属しているネジでケーブル管理ブラケットを固定します。
- ステップ4** すべてのケーブルを目的のポートに接続したら、そのケーブルを一まとめにしてケーブル管理ブラケットに通します。

エアーフィルタの取り付け

Cisco 8200 シリーズ ルータには、次のオプションのエアーフィルタがあります。

ルータ	フィルタキット (ポート側吸気)	フィルタキット (ポート側排気)
Cisco 8202	8202-FILTER-PI	FILTER-2RU-PE
Cisco 8202-32FH-M	8K-2RU-FILTER	該当なし



(注) 3ヵ月ごとにエア フィルタを点検し、必要に応じて6ヵ月ごとに交換することを推奨します。



(注) Cisco 8202-32FH-M シャーシにエア フィルタを取り付けるには、最初にケーブル管理ブラケットを取り付ける必要があります。ケーブル管理ブラケットについては、[ケーブル管理ブラケットの取り付け](#)を参照してください。

ポート側の吸気口へのエア フィルタの取り付け

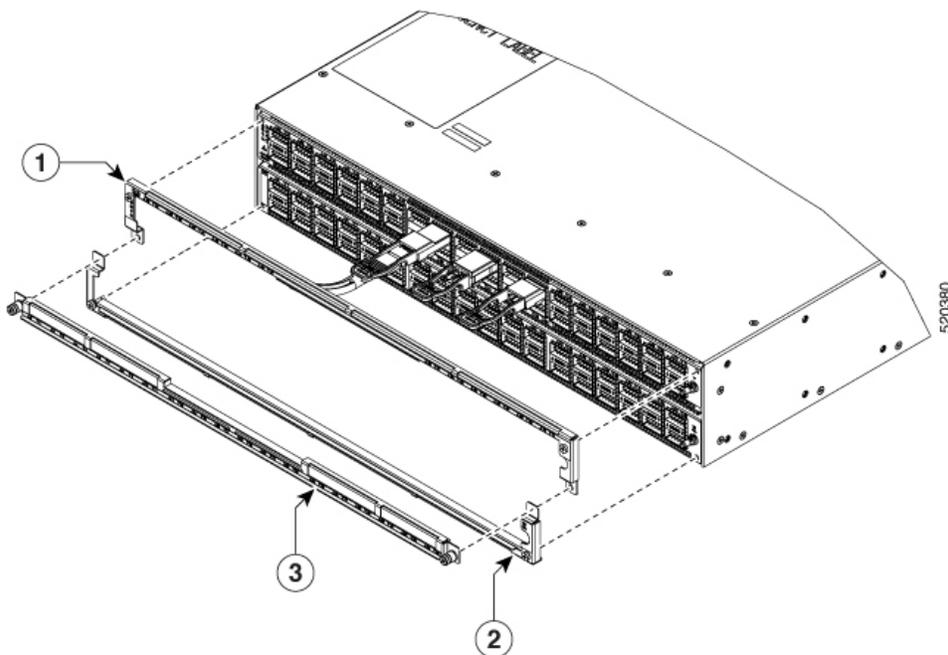
ポート側の吸気口のエア フィルタの交換が必要な場合は、次の手順に従います。



(注) 上下のフィルタを固定するには、手動ドライバを使用してゆっくりとネジを回転させます。ネジは3～4回だけ回転させ、締めすぎないようにしてください。0.65インチポンド (5.9 N-m) のトルク値を使用してネジを締めます。

ステップ1 エア フィルタの上側をシャーシの上部ポート側に置き、2つのネジで上部の左右に固定します。

図 17: ポート側吸気口のエア フィルタ



1	上部エア フィルタ部	3	エア フィルタ
---	------------	---	---------

2	下部エアークフィルタ部		
---	-------------	--	--

ステップ2 エアークフィルタの下側をシャーシの下部ポート側に合わせて置き、2つのネジで下部の左右に固定します。

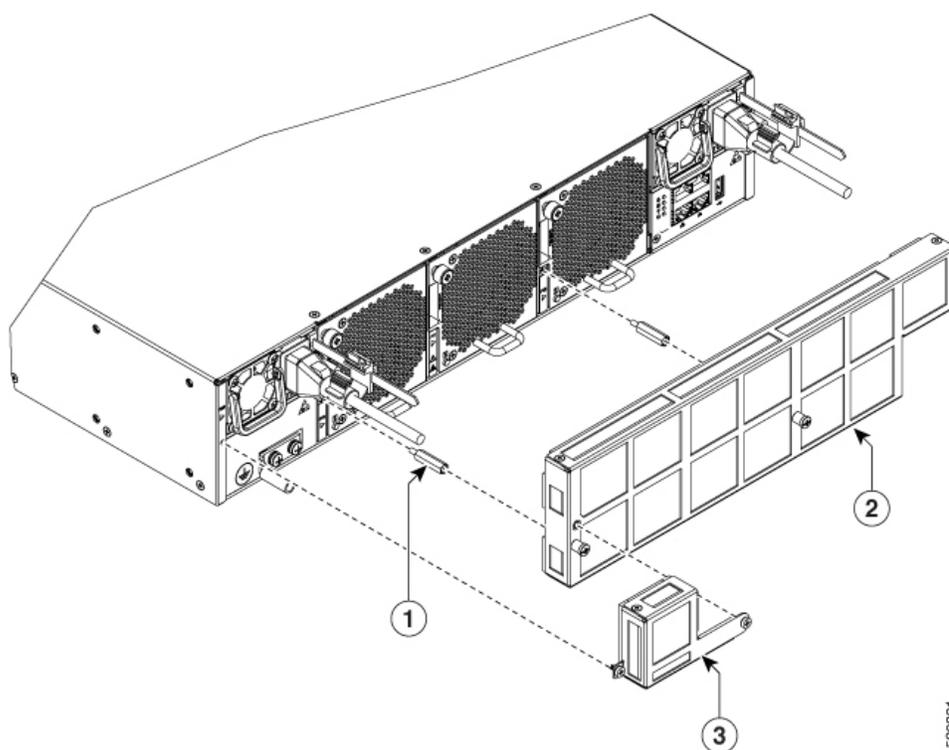
ステップ3 エアークフィルタを上下のエアークフィルタの間に挿入し、6つのネジ（それぞれ両側に2つ、中央に2つ）を締めます。

ポート側の排気口へのエアークフィルタの取り付け

ポート側の排気口のエアークフィルタの交換が必要な場合は、次の手順に従います。

ステップ1 シャーシに2つのスタンドオフを取り付けます。

図 18: ポート側排気口のエアークフィルタ



1	絶縁体ポスト	3	サイドフィルタ拡張
2	メインエアークフィルタ		

ステップ2 スタンドオフに合わせてメインエアークフィルタを取り付け、2つの取り付けネジを締めます。

ステップ3 サイドフィルタ エクステンションを取り付け、2つのネジ（シャーシに1つ、メイン エアー フィルタに1つ）を締めます。

Cisco 8202-32FH-M シャーシのポート側の吸気口へのエアフィルタの取り付け

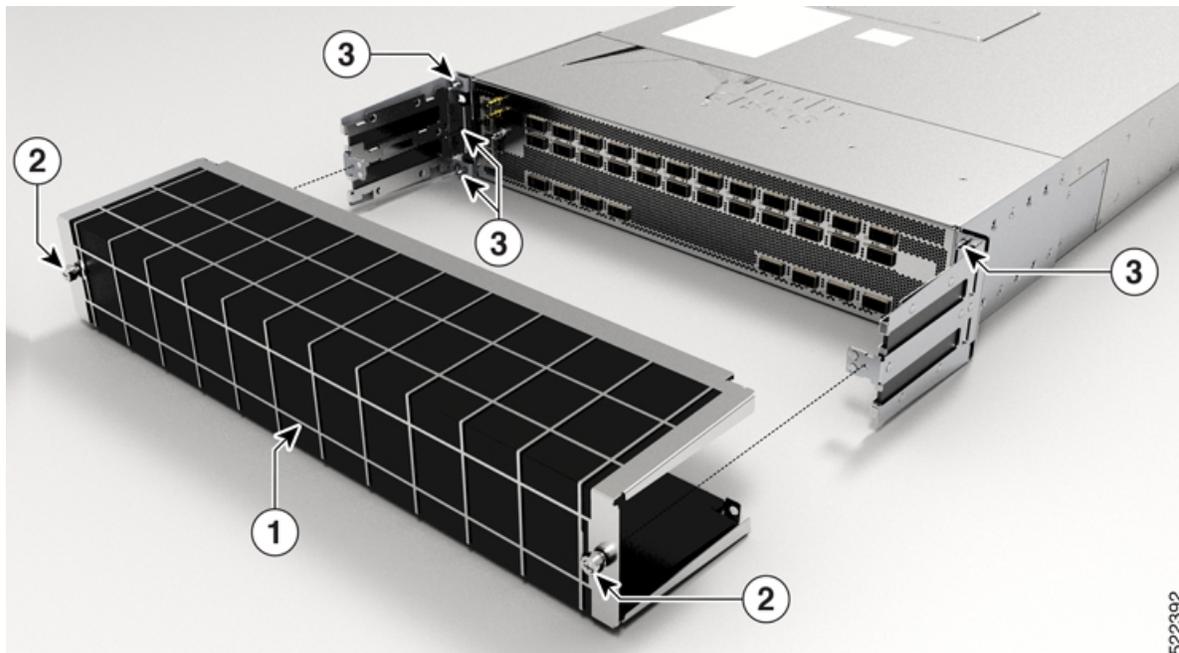
ポート側の吸気口のエア フィルタの交換が必要な場合は、次の手順に従います。



(注) ネジをきつく締めすぎないようにしてください。0.65 インチポンド (5.9 N-m) のトルク値を使用してネジを締めます。

ステップ1 エアフィルタを下図のように取り付けます。フィルタがケーブル管理ブラケットのピンと揃っていることを確認します。

図 19: Cisco 8202-32FH-M シャーシのポート側の吸気口のエアフィルタ



522392

1	エア フィルタ	2	止めネジ
3	ガイドピン		

ステップ2 2本のネジを締めてエアフィルタを固定します。

シャーシの接地

**警告** ステートメント 1101

スカンジナビア諸国（デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、およびスウェーデン）では、アプライアンスをアース付きコンセントに接続する必要があります。

**警告** ステートメント 1024

この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはつきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

**警告** ステートメント 1046

装置を設置または交換する際は、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。



注意 ラックがすでにアースされている場合でも、シャーシをアースすることが必要です。シャーシには、接地ラグまたは接地プレートを接続するためのネジ穴が2つある接地パッドが付いています。アースラグは、NRTL 認証済みである必要があります。また、銅の導体（線）を使用する必要があります、この導体は許容電流の NEC 規定に適合していなければなりません。



注意 フレームアースの終端時には、はんだ付けラグコネクタ、ネジなし（押し込み）コネクタ、高速接続コネクタ、またはその他の疲弊式コネクタを使用しないでください。

ステップ 1 ワイヤストリッパを使用して、#6 AWG アース線の端から 19mm (0.75 インチ) ほど、被膜をはがします。

ステップ 2 むき出しになったアースケーブルの端を、アースラグの開放端に差し込みます。

ステップ 3 圧着工具を使用して、アースラグにアースケーブルを固定します。

ステップ 4 アースケーブルを取り付けます。

- 指定されたデュアルホールラグコネクタを使用して、シェルフのアースケーブル（#6 AWG ケーブル）の一端をアースプレートに接続します。

図 20: Cisco 8201 ルータの接地ラグ

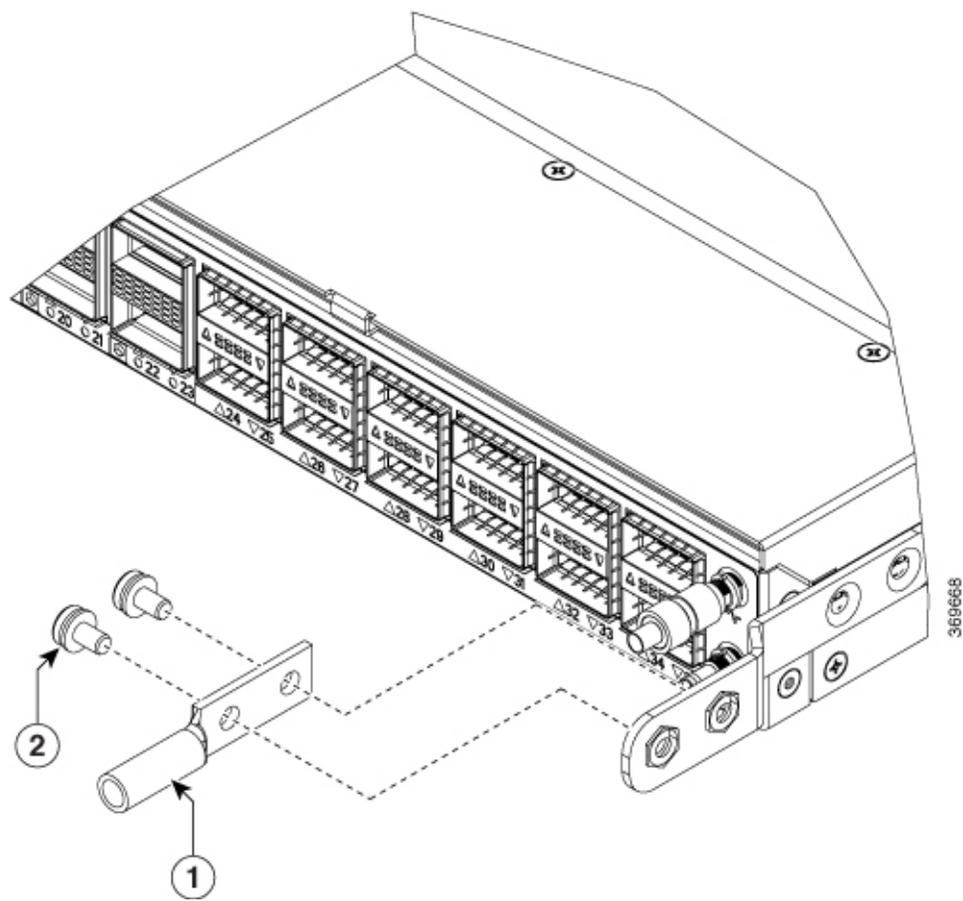


図 21: Cisco 8202 ルータの接地ラグ

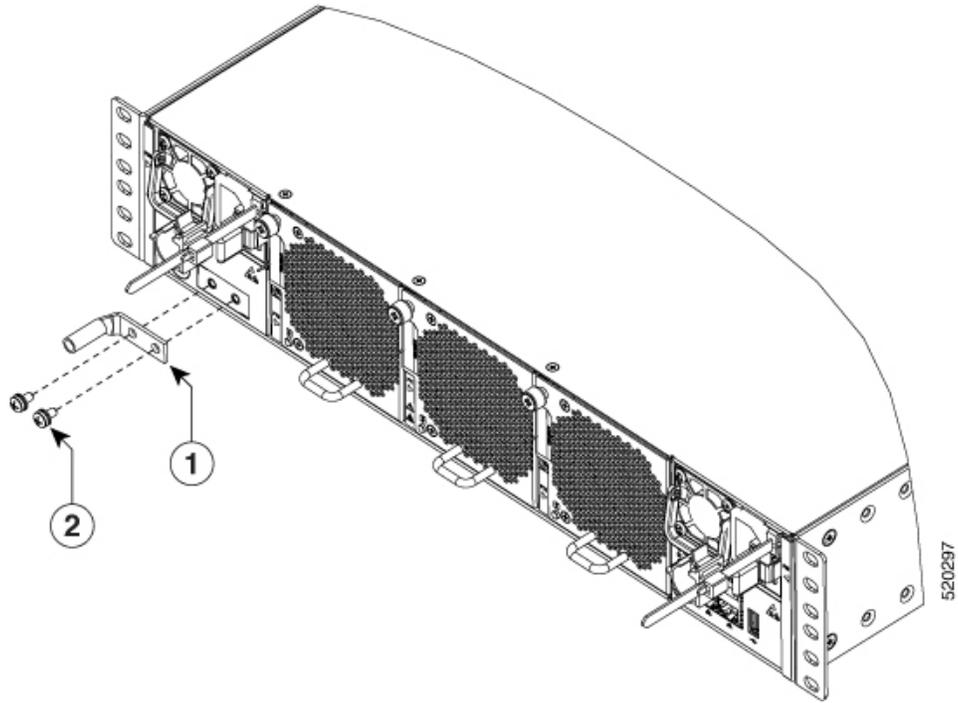
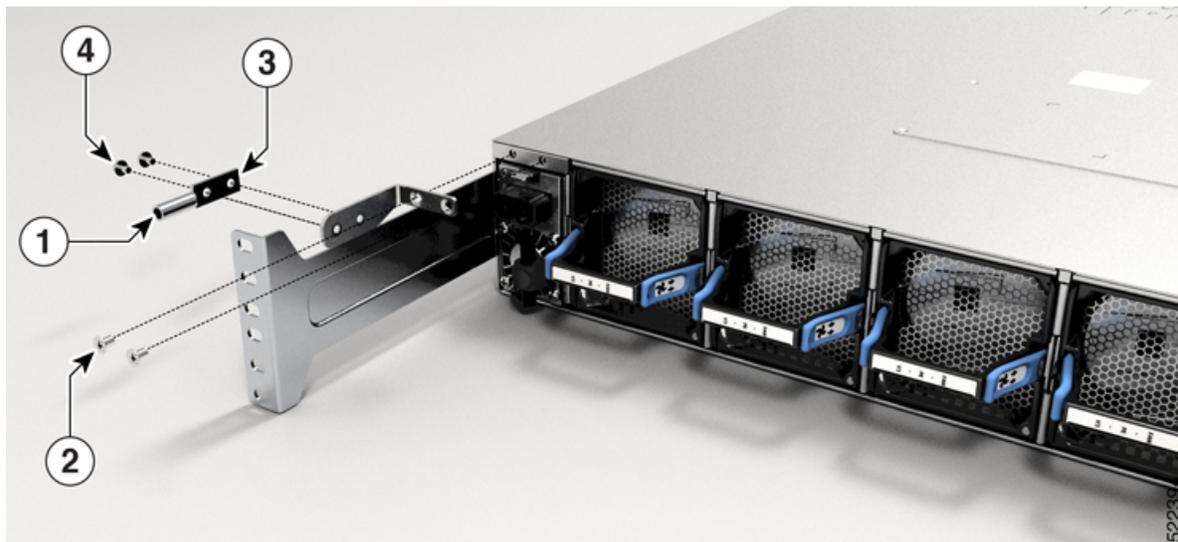


図 22: Cisco 8201-32FH または Cisco 8201-24H8FH の接地ラグ



1	アースラグ	2	M4 X 6 mm なべ頭ネジ
---	-------	---	-----------------

図 23 : Cisco 8202-32FH -M の接地ラグ



1	アースラグ	2	M4 X 6 mm なべ頭ネジ
3	L字金具	4	M4 X 6 mm なべ頭ネジ

ステップ5 トルク値 13.25 インチポンド (1.5 N-m) で、なべ頭ネジを締めます。

ステップ6 アース ラグおよびアース線が他の機器の妨げにならないことを確認します。

ステップ7 接地ケーブルの反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続して、シャーシに十分な接地が確保されるようにします。

電源装置の入出力範囲

電源モジュールに関する制限と考慮事項



警告 ステートメント 1090 - 熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

**警告 ステートメント 1091 - 教育を受けた担当者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できません。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告 ステートメント 1073 - ユーザーが保守可能な部品なし**

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

次に示すガイドラインおよび制限事項に従ってください。

- ルータでは 1 つのタイプの電源を使用します。
- ルータで使用される電源のタイプは、ルータに取り付けられているトランシーバのタイプと構成によって異なります。
- ルータに AC 電源と DC 電源を混在させて取り付けないでください。
- エアフロー方向は、ルータ内のすべての電源モジュールとファンモジュールで同じにする必要があります。
- AC 入力電源装置は、120V（公称）の低ライン間電圧と 220V（公称）の高ライン間電圧をサポートします。設置後に電圧タイプを変更する必要がある場合は、入力電圧レベルを切り替える前に電源からフィードを外してください。

次の表に、さまざまな入力アプリケーションでの電源装置の入出力電力範囲の一覧を示します。

表 3: 低ライン、高ライン、低電圧、および高電圧アプリケーションでの入出力電力範囲

電源装置の PID	サポートされるルータ	入力電圧	入力電流（最大）	出力電力
PSU1.4KW-ACPI PSU1.4KW-ACPE 低回線アプリケーション向け	Cisco 8201 Cisco 8202 Cisco 8201-32FH Cisco 8201-24H8FH	100V ~ 127V AC	13A	1000 W
PSU1.4KW-ACPI PSU1.4KW-ACPE 高回線アプリケーション向け	Cisco 8201 Cisco 8202 Cisco 8201-32FH Cisco 8201-24H8FH	200V ~ 240V AC	9 A	1450 W

電源装置のPID	サポートされるルータ	入力電圧	入力電流（最大）	出力電力
PSU2KW-ACPI PSU2KW-ACPE 低回線アプリケーション向け	Cisco 8201 Cisco 8202 Cisco 8201-32FH Cisco 8201-24H8FH 注：Cisco 8202-32FH-M は PSU2KW-ACPI のみをサポートしています	100V ~ 127V AC	12A	1000 W
PSU2KW-ACPI PSU2KW-ACPE 高回線アプリケーション向け	Cisco 8201 Cisco 8202 Cisco 8201-32FH Cisco 8201-24H8FH 注：Cisco 8202-32FH-M は PSU2KW-ACPI のみをサポートしています	200V AC ~ 240V AC	12 A	2000 W
PSU2KW-DCPI PSU2KW-DCPE 低入力DC電圧アプリケーション	Cisco 8201 Cisco 8202 Cisco 8201-32FH Cisco 8201-24H8FH 注：Cisco 8202-32FH-M は PSU2KW-DCPI のみをサポートしています	-48V DC ~ -60V DC	55A	2000 W
PSU2KW-HVPI AC 高ラインアプリケーション向け	Cisco 8201 Cisco 8202 Cisco 8201-32FH Cisco 8201-24H8FH Cisco 8202-32FH-M	180V AC ~ 305V AC	12A	2000 W
PSU2KW-HVPI AC 低ラインアプリケーション向け	Cisco 8201 Cisco 8202 Cisco 8201-32FH Cisco 8201-24H8FH Cisco 8202-32FH-M	90V AC ~ 140V AC	12A	1000 W

電源装置の PID	サポートされるルータ	入力電圧	入力電流（最大）	出力電力
PSU2KW-HVPI HVDC アプリケーション向け	Cisco 8201 Cisco 8202 Cisco 8201-32FH Cisco 8201-24H8FH Cisco 8202-32FH-M	192V DC ~ 400V DC	12A	2000 W
PSU3KW-HVPI AC 高ラインアプリケーション向け	Cisco 8202-32FH-M	180V AC ~ 305V AC	16.5A	3000W
PSU3KW-HVPI AC 低ラインアプリケーション向け	Cisco 8202-32FH-M	90V AC ~ 140V AC	17.2A	1500 W
PSU3KW-HVPI HVDC アプリケーション向け	Cisco 8202-32FH-M	192V DC ~ 400V DC	17A	3000W

シャーシへの AC 電源の接続



注意 シャーシは、短絡、過電流、および地絡から保護するために、設置する建物の保護装置に依存します。保護デバイスが地域および国の電気規則に準拠していることを確認してください。



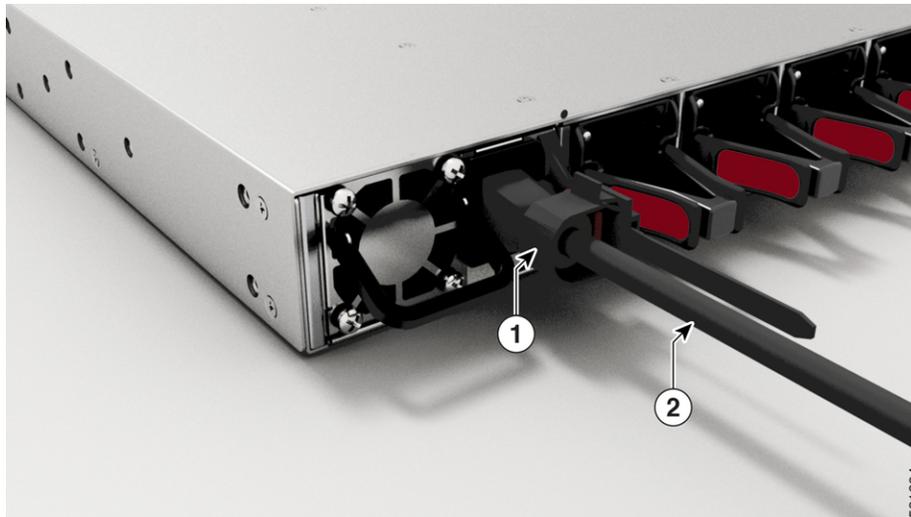
(注) 固定ポートルータの両方の電源スロットに電源モジュールを取り付けることを推奨します。電源モジュールに障害が発生した場合は、新しい電源モジュールと交換するまで、障害が発生した電源モジュールをスロットに保持することを推奨します。この推奨事項を行うことにより、システムのエアフローが悪影響を受けず、ルータとそのコンポーネントが過熱する可能性を回避します。



(注) 取り付けにはデュアル ポール ブレーカーが必要です。推奨されるブレーカーサイズを決定するには、地域および国の規則および規制に従ってください。ブレーカーのサイズは、消費電流と指定された電圧レベルに対する製品の仕様に基づきます。

- ステップ1 AC ケーブルが適切な AC 電源とコンセントタイプに取り付けられていることを確認します。
- ステップ2 AC 電源モジュールのケーブルコネクタに AC 電源コードを接続します。
- ステップ3 ケーブルクランプの開口部にケーブルを通します。
- ステップ4 ケーブルクランプをプラグに向けてスライドさせます。
- ステップ5 電源ケーブルの接続部をケーブル クランプで締めて電源ケーブルを固定します。

図 24: AC 電源の接続



1	ケーブルクランプ	2	AC 電源コード
---	----------	---	----------

AC 入力電源コードのオプション

次の表に、PSU の高回線アプリケーションの入出力電力範囲を示します。

表 4: Cisco 8200 シリーズルータの AC 入力電源コードのオプション

ロケール	部品番号	長さ	電源コード定格
オーストラリア、ニュージーランド	CAB-AC-10A-ANZ	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
ブラジル	CAB-AC-10A-BRZ	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
イギリス	CAB-AC-10A-GBR	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
中国	CAB-AC-10A-CHN	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
デンマーク	CAB-AC-10A-DEN	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC

ロケール	部品番号	長さ	電源コード定格
欧州	CAB-AC-10A-EU	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
イタリア	CAB-AC-10A-ITA	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
日本	CAB-AC-10A-JPN1	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
日本	CAB-AC-10A-JPN2	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
韓国	CAB-AC-10A-KOR	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
北米	CAB-AC-10A-NA	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC
スイス	CAB-AC-10A-CHE	14 フィート (4.26 m)	10A、250 VAC

表 5: Cisco 8200 シリーズ ルータの高電圧入力電源コードのオプション

ロケール	部品番号	長さ	電源コード定格
アルゼンチン	CAB-AC-16A-SG-AR	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
オーストラリア	CAB-AC-16A-SG-AZ	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
ブラジル	CAB-AC-16A-SG-BR	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
中国	CAB-AC-16A-SG-CH CAB-AC-16A-CN	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
欧州	CAB-AC-16A-SG-EU	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
インド	CAB-AC-16A-SG-IND	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
国際/英国	CAB-AC-16A-SG-IN	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
イスラエル	CAB-AC-16A-SG-IS	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
イタリア	CAB-AC-16A-SG-IT	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
日本	CAB-AC-16A-SG-JPN	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
南アフリカ	CAB-AC-16A-SG-SA	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
スイス	CAB-AC-16A-SG-SW	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
韓国	CAB-AC-16A-SG-SK	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
英国	CAB-AC-16A-SG-UK	14 フィート (4.26 m)	16A、250 VAC
北米 (非ロックン 110 VAC 動作)	CAB-AC-20A-SG-US	14 フィート (4.26 m)	20A、110 VAC

ロケール	部品番号	長さ	電源コード定格
北米 (非ロックング) 125 VAC 動作	CAB-AC-20A-SG-US1	14 フィート (4.26 m)	20A、125 VAC
北米 (非ロックング) 200 ~ 240 VAC 動作	CAB-AC-20A-SG-US2	14 フィート (4.26 m)	20A、250 VAC
北米 (ロックング) 200 ~ 240 VAC 動作	CAB-AC-20A-SG-US3	14 フィート (4.26 m)	20A、250 VAC
北米 277 VAC 動作	CAB-AC-20A-SG-US4	14 フィート (4.26 m)	20A、277 VAC
北米キャビネット ジャ ンパ配電ユニット (PDU)	CAB-AC-20A-SG-C20	14 フィート (4.26 m)	20A、250 VAC
北米、リング端子電源プ ラグ	CAB-HV-25A-SG-US2	14 フィート (4.26 m)	20A、300 VAC/500 VDC
国際 IEC/EU、リング端 子電源プラグ	CAB-HV-25A-SG-IN2	14 フィート (4.26 m)	20A、300 VAC/500 VDC

シャーシへの DC 電源の接続



注意 シャーシは、短絡、過電流、および地絡から保護するために、設置する建物の保護装置に依存します。保護デバイスが地域および国の電気規則に準拠していることを確認してください。



(注) 固定ポートルータの両方の電源スロットに電源モジュールを取り付けることを推奨します。電源モジュールに障害が発生した場合は、新しい電源モジュールと交換するまで、障害が発生した電源モジュールをスロットに保持することを推奨します。この推奨事項を行うことにより、システムのエアフローが悪影響を受けず、ルータとそのコンポーネントが過熱する可能性を回避します。

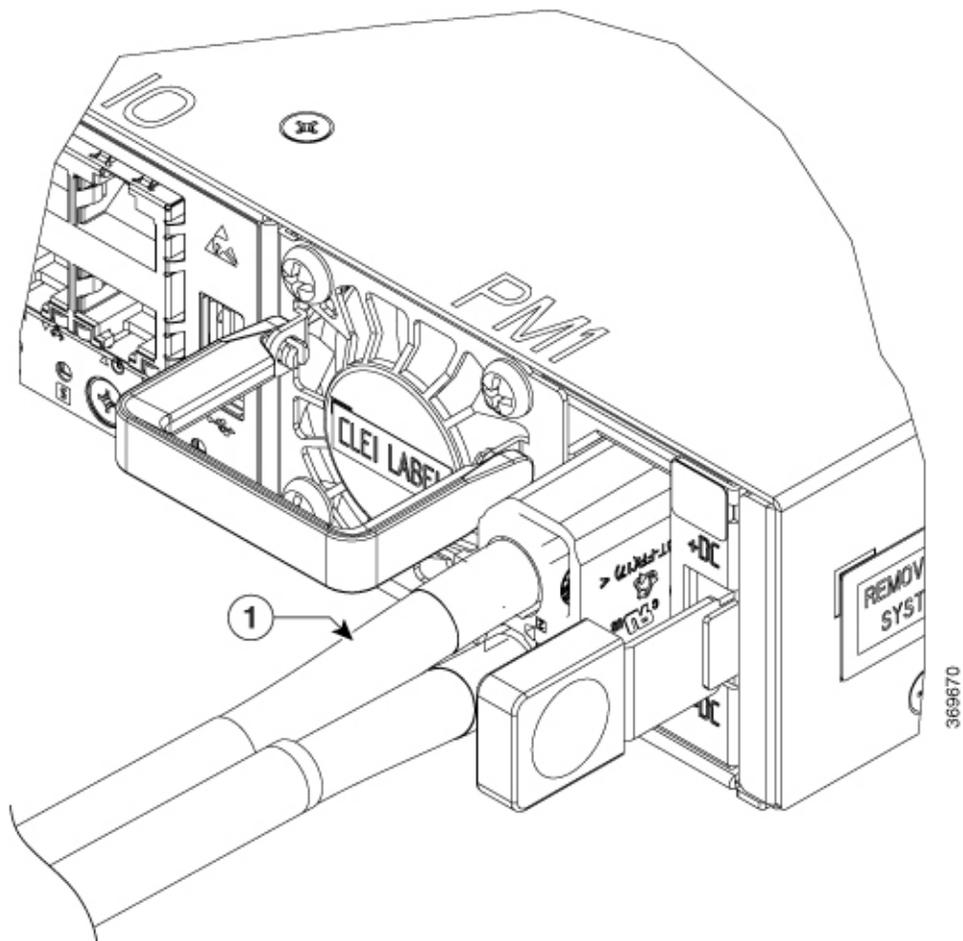


(注) DC 電源と図の詳細については、[シャーシへの AC 電源の接続](#)を参照してください。

ステップ 1 上部のマウントスペースに正しいヒューズパネルが取り付けられていることを確認します。

- ステップ 2** DC回路の電源がオフになっている（ブレーカーがオフになっているか、またはヒューズが抜かれている）ことを確認し、適切なロックアウトタグアウトの手順に従います。電源に付属のケーブル（PID : PWR-2KW-DC-CBL）を使用します。電源コードはシスコから別途購入できます。
- ステップ 3** 現地の規則に従って電力を調整します。
- ステップ 4** ヒューズパネルの工業規格に従って、オフィスバッテリーと帰線ケーブルを接続します。
- ステップ 5** DC コネクタを電源モジュールの DC レセプタクルに差し込みます。

図 25: DC 電源の接続 : Cisco 8202 固定ポートルータ



1	DC 電源ケーブル
---	-----------

- ステップ 6** ケーブルを固定するロック機構がかみ合っていることを確認します。
- ステップ 7** 電源で回路ブレーカーをオンにします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。